

ここからはじまる 秋川牧園

巡る自然の中で、動物も人も生きています。
その当たり前の営みを45年以上守り続ける、
鶏物業でおなじみの秋川牧園（山口県山口市）を訪ね、
加工品、ひいては食との向き合い方について見つめます。

育て、作る。 食べて、身になる。



開け閉めができる窓が付いている鶏舎内は、陽ざしと風が入り心地良い。



やわらかな陽ざしが降り注ぎ、みずみずしさに満ちた緑に抱かれる秋川牧園。

「口に入るものは、間違っってはいけない」

びよびよ、びよびよ……。みずみずしい緑が満ち、やわらかな陽ざしが降り注ぐ春の陽気の中、扉をそつと開けたそこにいたのは、生まれたばかりのひよこたち。あちこち歩き回る、ごはんを食べる、窓際にゆったり座る。それぞれが気の向くままに過ごしています。

「1羽の鶏から健康に、安全なものにしよう」。1972年、ここ山口の地で養鶏から始めた時の決意です。以来、輸入されることが多い飼料におけるポストハーベスト農薬[※]不使用や遺伝子組み換え作物不使用、無投薬飼育、食品添加物不使用の加工品作りなどに取り組み、実現してきました。そう話すのは、大地を守る

会の鶏物業でおなじみ秋川牧園(山口県山口市)の代表・秋川正さんです。公害が顕著だった創業当時は、畜産物からも農薬が検出されたそう

「創業者の父は気になり、調査を始めました。そこで、農薬が残留している飼料を与えていると、鶏の体内にも農薬が蓄積されるということに気付いたのです。また、一般では早く成長させて出荷するために、肉骨粉を与えているところも少なくありません。これが続けると、農薬などが次々に濃縮されて危険度が増す恐れがあります」。

現在は、鶏肉そのものの輸入量も増えています。輸入先は中心となるブラジルに加え、タイとアメリカです[※]。2017年、ブラジルが衛生基準に満たない鶏肉を輸出し、EUや中国が輸入禁止に踏み切ったことも記憶に新しいでしょう。そうなる飼料はもとより、飼育方法、肉の品質管理まで、トレースや管理がよ



- 1 よく食べ、よく動き、よく休んで健康に育った鶏たちは逞しい。
- 2 座っているのはリラックスしている証拠。昼寝するひよこたちも。

り難しくなるのが現状です。また、それを加工する場合、肉を結着させるリン酸塩や味を補うアミノ酸[※]など、食品添加物を使用することも少なくないのです。

「実は、祖父は中国の大連で、野菜・果物だけでなく、鶏や豚も育て、ワインやチーズも作る農園を営んでいました。よく言っていたのは、「食をつくる者は、人の命を担う責任がある。口に入るものは、間違っってはいけない」。そんな祖父や父の思いにふれながら、小さい頃から養鶏の手伝いをしていましたね」と秋川さん。これが秋川牧園の原点であり、食の問題が山積する今でも受け継がれる理念です。



- 3 会社に隣接した直売所は、仕事を終えた社員の皆さんでもにぎわいます。
- 4 「お昼はお弁当」という社員の皆さんのお弁当にも鶏惣菜。
- 5 代表・秋川正さんもエコバッグを持って買い物。

※1 農作物の長期保存や輸送中の防虫・劣化防止のため、収穫後、農作物に直接散布される農薬。日本では使用が禁止されているが、他国で使用が広く許可されている。

※2 2019年農林水産省『食肉鶏卵をめぐる情勢』参考



自社農場長の藤重亨さんは、前職が原種の鶏を育てることで、鶏一筋です。

健康、誠実という 当たり前

「座っているのはリラックスしている証拠です」。陽ざしと風が入る広い鶏舎の中で、そのうちすやすやすと昼寝し始める鶏たちを温かく見守るのは、自社農場長の藤重亨さんです。「下には、木のカンナくずやノコくずと鶏糞を発酵させてできた土を敷いています。飼料には、九州産の飼料米を30%以上、また乳酸菌も入れています。いい菌を増やせば、悪い菌は増えません」。一般ではコストを重視し、一坪に約60羽という身動きもとれない状態で飼育し、病気を防ぐために抗生物質・合成抗菌剤を与えるのが主流。秋川牧園は出荷数

が少なくなっても、鶏たちがのびのびと健康に育つことを大切にしています。

昔は鶏舎だった場所に立つ加工場に入ると、塊肉を包丁で切り、醤油や生姜などで味を付け、衣を付けて揚げ、唐揚げを作っていました。それは、まさに家庭での作り方と同じです。「加工品ですと、一般では安く多く作ろうと、安価な肉を使った成型肉に、多くの食品添加物を加えて作っていることがあるでしょう」とは製造部品質保証責任者の柏木啓孝さん。唐揚げやナゲット、串焼きなどが次々と作られていく様子を見て、鶏惣菜に飽きることはないのかと聞くと、「家庭の味に飽きないのと同じで、飽きは来ないですね。肉のうまみが生かされた味おいしいですね」と笑って言いました。

惣菜はもちろん、野菜や肉、卵、お菓子などの加工品まで、同社の商品が揃う会社に隣接した直売所。退社時間になると、仕事を終えた社員の皆さんでにぎわいます。「どう作られているのかが分かるので安心ですね。私がお昼がお弁当なので、鶏惣菜も入れます」とは商品開発担当の末吉里帆さん。エコバッグを持った秋川さんも買い物に立ち寄ります。「食べ物を選ぶことで、思いをともにした生産者が食をつくり続けることができます。それは、その食を食べ続けられることでもあり、消費者にとっても財産です。この輪がいいなと感じ、大切だと思っています」。工程が多くてより分かりづらく、気になることも多い加工品。信頼できる生産者という仲間は、ここにいます。

食べることは つながること

- 6 骨が残っていないか指で確認後、包丁で切っていきます。
- 7 衣を付けるのも全体の工程も、家庭での作り方と同じです。
- 8 家庭の味に飽きないのと同じで、飽きの来ない味わい深さ。

人気の定番2種
秋川牧園さんの
イチオシセット

2950 凍 1セット
1,016円 (税込1,097円)
セット内容
とりのからあげ・チキンナゲット 各200g
⑦小麦・卵・大豆

骨なし&麺でやわらか
秋川牧園の
フライドチキン

2949 凍 300g
1,198円 (税込1,294円)
⑦小麦・卵・大豆

※お買い物サイト125号も合わせてご覧ください。



イベント

編集後記

加工品は工程が多いがゆえに分かりづらく、食品添加物や残留農薬、遺伝子組み換え作物など気になることもたくさん。秋川牧園の皆さんは、健康で安心できる食づくりを45年以上守り続けています。遅く、温かいその思いは、皆さんの表情や言葉などにも表れている気がしました。(編集部・大塚)

もぎたてをたくさん召し上がれ

夏の三浦 とうもろこし収穫祭

2019.7.28(日) 10:00~11:30



お待たせしました！海と大地の恵みがあふれる三浦半島で、キャベツや大根、とうもろこしなどを育て、「春の三浦 大根収穫祭」でもおなじみの黒崎研究会(神奈川県三浦市)の皆さんと行う、おいしい夏の産地イベントです。とうもろこし畑をかき分けて歩く体験は、お子さんはもちろん、大人にとってもちょっとした冒険気分。太陽の光を身体いっぱい感じながら、ゆでたてをがぶりとかじるひとときは、夏ならではの至福です。なかなか食べる機会のない生のとうもろこしも味わえますよ。ご家族やご友人と一緒にぜひ遊びに来てください！生産者の皆さんも楽しみに待っています。

DATA

訪問先……黒崎研究会のとうもろこし畑(神奈川県三浦市)
※現地集合・解散です。
※京浜急行久里浜線「三崎駅」より徒歩20分

参加費……大人(中学生以上)●2,500円、子ども(3歳以上)●1,500円、3歳未満●無料

定員……300名

申込締切……7月7日(日)

主催……大地を守る会
ソーシャルコミュニケーション部

※駐車場はありません。
※当日、イベントの運営をお手伝いして下さる方(大人のみ、若干名)を募集します。お申込みの際、備考欄に「当日スタッフ希望」とご記入ください。後日、改めてご連絡させていただきます。



1 もぎたての生も、ゆでたてもがぶり！
2 甘く香ばしい香りあふれます。



この夜のため、東京タワーがライトダウン

100万人のキャンドルナイト@増上寺2019

2019.6.15(土) 11:00~21:00

DATA

会場……大本山増上寺(港区)
※JR線・東京モノレール「浜松町駅」より徒歩10分、都営三田線「御成門駅」
「芝公園駅」より徒歩3分、都営浅草線・大江戸線「大門駅」より徒歩5分

参加費……入場無料
※当日、会場へ直接お越しください。

共催……大地を守る会、J-WAVE(81.3FM)

※詳細は大地を守る会のウェブサイトをご覧ください。
※雨天決行、荒天の際は中止となります。
※来場者が多数の場合、入場制限・規制退場を行うことがあります。
※雨天の際、大殿・ステージ前の客席エリアでは傘のご使用を禁止させていただきます。



1 ゆるやかな灯りのもとで過ごすひととき。
2 力強く、華やかな和太鼓の音色が響きます。
3 大地を守る会の食材を使ったキッチンカーも。



ダンボールコンポスト・フォローアップ編

フードリサイクル講座

2019.6.30(日) 14:00~16:00



5月の入門編に続き、今回は実際にやってみてからの疑問や心配なことを解消します。最初からの復習もあるので、初めての方も歓迎です。安心・安全な食べ物の栄養を無駄なく活用した堆肥の作り方だけでなく、その使い方もご紹介。おいしい野菜やきれいな花を育てましょう！



生ごみをリサイクルして堆肥を作ります。

DATA

会場……川崎市高津市民館 実習室(神奈川県川崎市)
※JR南武線「武蔵溝ノ口駅」より徒歩2分、東急田園都市線「溝の口駅」より徒歩2分

講師……環境を考え行動する会

参加費……3,000円
※スターターキット(ダンボールや基材など)代、送料を含みます。
※上記が不要の方は無料です。

定員……25名

申込締切……6月16日(日)

主催……大地を守る会 エコ研

※スターターキットが不要の方はその旨を、キットの部品(基材など)の購入および当日の持ち帰り(1,000円引き)をご希望の方は希望内容を、お申込みの際、備考欄にご明記ください。

お申込みはWEB
または右記申込書を
注文書と一緒に
ご提出ください

大地を守る会 イベント 検索



お問合せ

オイシックス・ラ・大地
ソーシャルコミュニケーション部
TEL●050-5306-8513
E-mail●csr@member.daichi.or.jp

注意事項

当社は、大地を守る会のイベント及び大地を守る会が告知する他団体のイベントにお申込みいただく際、ご記入いただく個人情報、お申込み内容に関する確認、参加者への連絡、抽選、抽選結果連絡、お問合せに対する回答、非常時に関する対応、イベントの質向上管理のために利用させていただきます。なお当社は、イベント等を旅行業者に業務委託する場合があります。この場合、個人情報を開示することがあります。業務委託にあたっては、個人情報の保護に関する契約を締結し、業務委託先が契約を遵守するよう必要かつ適切な管理及び監督を行います。上記に同意の上お申込みください。個人情報の取扱いに関するその他の条件については、当社ウェブサイトの個人情報保護方針をご確認ください。
<https://takuhaidaichi-m.co.jp/information/8>

2019年6月号 イベント参加申込書

ソーシャルコミュニケーション部行

イベント名		参加人数	会員番号				
		人					
参加者の氏名(フリガナ)	性別	年齢・学年(生年月日)	アレルギーの有無	参加者の氏名(フリガナ)	性別	年齢・学年(生年月日)	アレルギーの有無
メールアドレス(事前連絡が可能で添付ファイルが受信可能なもの)				携帯電話番号(当日連絡が可能なもの)			

*ご家族の場合は代表者分のみをご記入ください。

備考(会員として登録された「住所」と異なる方がいらっしゃる場合はその方の住所、他連絡事項がある場合はその旨をご記入ください。)

*複数のイベントにお申込みされる場合や記入しきれない場合は、「連絡便」などに必要事項を明記の上、ご提出ください。



発行 オイシックス・ラ・大地株式会社
東京都品川区大崎1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー5階
TEL 050-5306-8513